

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2025年 1月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2025年 1月 1日発行 通巻380号

謹賀新年 2025年 元旦

(令和7年、平成37年、昭和100年)

1月号 目次

・ 目次	2
・ 12月理事会報告	3
・ 年頭挨拶（役員会）	8
・ 山行報告1：韓国：仁寿峰クライミング（船橋勤労者山の会）	13
・ 山行報告2：台湾：桃山（船橋勤労者山の会）	14
・ 山行報告3：八王子城山（市川山の会）	16
・ 山行報告4：荒船山（かがりび山の会）	18
・ 山行報告5：茅ヶ岳（茂原道標山の会）	22
・ 山行報告6：手賀の丘公園周辺クリーンハイク（岳人あびこ）	23
・ 山行報告7：鶏足山・焼森山（岳人あびこ）	25
・ 山行報告8：官ノ倉山・金勝山（山の会らんたん）	27
・ 山行報告9：鶏頂山・塩原自然研究路（東葛山の会）	28
・ 山行報告10：奥鬼怒 日光澤温泉（松戸遠足クラブ1年さくら組）	31
・ 調査報告：石射太郎・高岩山・八良塚（房総プロジェクト）	32
・ 集会報告1：全国登山者自然保護集会 in 徳島（自然保護委員会）	34
・ 集会報告2：関東ブロック自然保護集会（自然保護委員会）	36
・ 行事案内1：房総ハイキング（ハイキング委員会）	38
・ 行事案内2：ワンコイン講習会（女性委員会）	39
・ 2024年事故一覧（教育遭難対策委員会）	40
・ 『ちばニュース』表紙で振り返る2024年（機関紙委員会）	41
・ 1月・2月予定表	42

個人情報があるので取り扱いには注意して下さい。

『**山行報告**』や『**行事報告**』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm
写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『**表紙用写真**』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会:安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

東葛山の会恒例の忘年山行として『塩原温泉：明賀屋本館』に泊り、『鶏頂山』と『塩原自然研究路』の雪上ハイクを2日間とも好天に恵まれ40年ぶりに楽しみました。穏やかな青空の下、『鶏頂山』山頂を目指して歩く17名です。真っ白な鶏頂山山頂からは『筑波連山』などを見渡すことができました。（編集子）

2024年12月19日（木）千葉県連理事会議事録

千葉こまくさハイキングクラブ 五木田啓文作成

日 時 2024年12月19日（木）19:00～20:50 船橋市西部公民館 2階会議室

参加者 県連加盟各会理事、役員

司会：野田、 書記：五木田理事（こまくさ）

県連理事	○	松宮（市川）	○	前田（かがりび）	○	高橋（岳人あびこ）	
○	横山（ちば山）	×	永尾（ちば山）	○	五木田（こまくさ）	○	羽鳥（東葛）
○	酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	○	佐藤（茂原道標）	○	渡邊（松戸）
○	内藤（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	○	鈴木（らんたん）	○	戸石（民医連）
○	荒井（岳樺）						
県連役員	○	野田（理事長）	○	細村（会計）	○	広木（女性）	
○	菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外/機関紙）	○	田中（ハイキング）
全国連役員	○	石川（副理事長）	×	山本（理事）			

○：出席、×：欠席 理事と役員が兼務の場合は両方に記載

打合せ議題

1. 理事長挨拶（野田）

12月になりやっと寒くなってきました。皆さん、風邪など引かないよう元気にお過ごしください。冬山に行かれる場合には、安全に十分配慮していくようお願いいたします。2024年最後の理事会です。活発な討議をお願いします。

2. 役員会報告（野田）

12月12日（木）オンライン役員会 19:00～21:10

- 1) 来年3月合同会議の準備について
- 2) 房総の山復興PJ 今後の活動について
- 3) 障害者ハイク（ふれあいハイク）について
- 4) 来年度活動方針協議、他

3. 全国連理事からの連絡・情報提供等

- 1) 石川 昌 副理事長

12/1 現在、全国の事故件数 326 件。60・70 代の女性の転倒事故が多い。登山寿命をどのように伸ばすべきか検討中。

民間所有のクライミングゲレンデ閉鎖の動きがあるので注意してほしい。

日和田山ゲレンデ等、今後事故時の責任の所在など法的対応が必要となる。

4. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

- ①今年発生 of 事故は 10 件（例年並み）

→「事故一覧」を「2025 ちばニュース 1 月号」に掲載予定

・クライミング事故 5 件（例年は 1 件以下） 初心者からベテランまでさまざま

クライミングはリスクが高いため十分な注意を

- ・転倒事故3件（例年より少ない） すべて70歳以上
- ・他2件

②12/23 教遭委員会にて次年度計画の話し合い予定

次年度オンライン講習会で取り上げてほしいテーマを募集します

これまでのテーマ

- ・山での歩き方
- ・トレーニング方法
- ・筋トレの効果
- ・ココヘリの紹介
- ・高山病の予防と対応
- ・労山基金 など

2) 自然保護委員会（菅井）

①11月16（土）～17（日） 第22回全国自然保護集会（徳島県）

菅井（オンライン参加）、山本久委員（現地参加）

②11月23（土）～24（日） 関東ブロック「自然保護交流集会」 菅井参加

※委員長交代の準備 ⇒ 来年度交代または副委員長を選任したい。

→上記①、②の報告を「2025 ちばニュース1月号」に掲載予定

2025年4月19日（土）に県連統一クリーンハイクを実施予定

3) ハイキング委員会（田中）

- ・2025年1月25日（土） 房総ハイキング（勝浦ウォーキング）

「2024 ちばニュース12月号」に掲載しています（回数訂正、第38回に）

房総の山 登山道調査実施 ⇒ 6項 房総の山復興PJの項で説明

4) 組織委員会（野田）

委員会活動状況の調査など、今年度の計画に沿って活動中。

（今後役員会、理事会の意見を取りこみまとめる予定）

各委員会に今年度活動状況一覧表への追記を依頼します。

5) 女性委員会（広木）

全国連よりの女性アンケート調査について 5項、7) の内容

2025年3月8日（土）ワンコイン講習会（講師石田先生）を開催予定

6) 海外委員会（安彦）

①韓国：紅葉ハイキング（10/18-21）の『思い出交換会（Zoom）』を11月18日（月）

19：00-21：00に、13名（現地ガイド含む）の参加で開催。

→『ソウル5岳』の残り3座も歩きたいね…という声あり。

『2024 ちばニュース12月号』に参加者16名全員が投稿。

②全国連盟海外委員会（12/10、Zoom）に参加し、海外山行交流集会（11/9-10）の

総括をし、アンケート結果などを参考に今後の活動について意見交換を行った。

毎月、「JWAF journal」に委員会報告が掲載されています（委員5名の輪番制）。

③次回の委員会を12月26日（木）19:30-21:00開催予定（Zoom）。

話し合いテーマ：新年度の海外山行企画、今後の委員会活動全般についてなど。

④海外山行計画書を必ず全国連盟海外委員会に提出して下さい（メール可）。

7) 機関紙委員会 (安彦)

① 『ちばニュース』 関連

- * 『実態と改善のアンケート調査』と『投稿依頼』の方法について継続検討中。
→アンケート設問内容の再確認、調査方法は基本 Web で実施予定。
→これまでの投稿実績を参考に各会に投稿をお願いする(理事会の場合など)。
- * 『12月号』を11月30日に、各会代表者・県連理事・県連役員にURL配信。
韓国特集及び多くのカラー写真挿入により容量が大きく(14MB)なったため「URL」のみで配信した。→問題があれば具体的に指摘をお願いします。
※原則、配信後数日以内に県連ホームページにアップされます。
- *表紙用写真、山行報告、行事報告などの投稿を継続募集中。

② 次回の委員会を1月23日(木)19:00-21:00開催予定(Zoom)。

話し合いテーマは、アンケート調査方法(設問、実施時期・期間・方法など)、今後の委員会活動全般についてなど。

5. 役員会より (野田)

1) 来年3月の合同会議の準備をお願いします。

① 概略スケジュール △: 理事会

10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
	資料作成		調整・確認		
△	△	△	△	各会事前確認 2月	理事会承認
		対面理事会		資料発行	印刷
					▲ 3/1 合同会議

12月末までに議案資料ほぼ程度作成する。委員会内部でまとめておいてください。

② 日程: 2025年3月1日(土) 塚田公民館 12:00~18:00 (会議 13:00~17:00)

③ 当日担当者選任(案) 今後のことも考え、順番に決めました。どうですか?

④ 各会への開催案内 来年1月理事会時に発行

2) ふれあいハイクについて (五木田、野田)

11月25日(月) 千葉中央コミュニティーセンターサークル室にて打合せ

障千連: 天海氏、上村氏 県連: 五木田、岡田、野田

今後の進め方について協議

① 県連の現状説明 (野田)

会員の高齢化が進んでいる。以前ほどサポート出来ない。40~50人程度か?

② 障千連も同様に高齢化が進んでいる。参加者は来年募集する。20~30人程度か?

障害者は普段外部に出る機会が少ないので、ぜひ支援お願いしたい。

③ 開催時期

障千連の予定を考え、来年秋10月26日(日)を仮決めする。(日)が良い。

④ 場 所 ⇒ 労山で考える。大型バス駐車場、身障者WC、海岸方面でも可。

距離 250 km以内、バス 10 時間以内

⑤バスの手配 ⇒ 障千連手配 市のバス太陽号（リフト付き大型）手配する。
太陽号（40人）＋大型バス（50人）＝最大90人位
バス料金、予約等準備する。

⑥参加者予想 ⇒ 障千連（20～30人）＋県連（40～50人）＋他（10人）
＝70～90人

⑦会費 ⇒ 参加者で分担。5000円程度としたいが？ バス料金高騰。

⑧障害者全国交流集会在9月27（土）～28（日）千葉ポートプラザで開催される。
補助など数人県連に支援して頂けないか（障千連）⇒ 回答保留（県連）

⑨次回打合せ 2025年1月27日（月）17:30～ 同じ場所にて

⑩県連対応

- ・五木田理事（こまくさHC）が主体的に対応する。野田責任者
- ・副担当を選任したい（2人程度）。立候補または推薦いかがですか？
- ・県連 できる範囲で支援する。（社会貢献の一環）
12月理事会、来年3月合同会議で了解を得るようにする。
- ・会でまだ確認が取れていない（かがりび前田）。他の会からは意見なし。
⇒ 過去に経験者がいるので、内容確認してほしい。

3) 来年度県連の活動方針（案）提案

「会、県連を越えた活動を進めましょう。活動範囲が広くなり、楽しみ（充実感、満足感）が増します。」

- ・会を越えた活動 ⇒ 他会の講習会、山行等への参加
- ・県連を越えた活動 ⇒ 全国連盟、他団体活動、社会貢献活動への参加
会員、各会、各委員会で活動の範囲を広げましょう。

4) 加盟会員数調査がまとまりました。配布済リストの内容を本日再確認済。

この内容で全国連に報告します。報告後の変更はできません。

2024年11月集計会員数 632人（前年より-5人）

5) 労山カレンダー注文の状況（五木田）

注文部数 67部（県連）

6) 2025年全国連評議会 2/15（土）～16（日）野田出席 会場：府中

7) 全国女性委員会アンケート対応について

各会で対応お願いします。これに対する意見などあれば

目的：女性と登山をめぐる現状と、全国女性委員会の継続について、意見を募る。

対象：労山の女性会員。 期間：2024年11月25日～2025年1月25日。

*アンケート対象を女性会員に限定していることに対し、違和感を感じる委員が多数いた。全国連に意見を言うようにする。（野田対応）

6. 房総の山復興PJ（野田、田中、菅井）

1) 過去にPJ内で整備した登山道の現状確認作業を行っている。

- ・3カ所済（房州アルプス・鎌倉古道、鋸山安兵衛井戸コース、高岩山周回コース）
- ・残り1カ所 伏姫籠穴～西尾根～北峰～伏姫コース（下山路） 近々実施予定

- 2) 千葉県より依頼の「首都圏自然歩道状況調査」10コース 12/4 県と契約済
 労山担当 ① 23 滝のあるみち 清和県民の森周辺
 ② 24 ニホンザルと出会う道 高宕山周辺 一部調査済
 ③ 26 東京湾を望むみち JR 金浜谷駅～鋸山～JR 保田駅
 田中（ハイキング委員長）、菅井（自然保護委員長）、野田で対応
 調査日程：12月14（土）、16（月） 上記3コース調査済
 作業スケジュール
 ・調査期間 12月～来年1月末（契約後60日、報告書作成含む）
 ・県への提出 CMSCA 岩崎会長がまとめて2月初めに提出。

7. 各会理事からの活動状況報告

現状報告、県連活動に展開できそうな事項、困っていることなど、自由に発表
 をお願いします。（今年度各会2回報告して頂きました）

- 1) 今月の担当：市川山の会
 会員数50名位、年間会山行15件、貸し切りバス（小型）の利用が多い、
 宿泊山行で利用山小屋の料金が高くなり、行ける山が少なくなったのが悩み、
 また、後継者養成も悩みです。
- 2) 東葛山の会
 山行管理を「登山用アプリ」を利用している会があれば、具体的に教えてほ
 しい。例えば、「YAMAP」、「ヤマレコ」、「コンパス」など

8. その他

- 1) 今後の対面式理事会の予定 12月、4月、7月（毎年3回予定）
- 2) 県連活動に対する意見などあれば、遠慮なく発言してください。
 事前に意見をメールで頂いても構いません。

以上

【訂正】

先月号『2024 ちばニュース 12月号』p.13『編集子コメント』欄の1行目に
 誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

（正）……多くの会員の参加で……

（誤）……多くの会で……

「何…？」と思われた読者が多かったのでは…？ 大変失礼しました。（編集子）

< 短信 12月 > ▲ 茂原道標

- 12/4-5 身延・羅漢寺山（個）1名
 12/10 例会 16/20
 12/14 三浦アルプス・忘年（会）12名（延期）
 独り言…忘年山行、延期（インフルエンザ）残念！



2025年 新年のご挨拶

2025年1月 千葉県連理事長 野田久生（かがりび山の会）

皆様、あけましておめでとうございます。皆様にとって本年も良い年になることを祈っております。

私は理事長になって、今年4月で5年目の長きになります。この間の多くがコロナの影響があった時期でした。昨年からはコロナの影響もなくなり、県連活動も活発化してきました。今年は更に活発化することを期待しております。



昨年は、異常気象が世界各地で頻発しました。日本においても夏の40℃を超える猛暑、豪雨、大型台風による被害等多くの影響が有りました。また、夏の北アルプスの残雪がなくなるのではないかと心配するほどの影響が有りました。二酸化炭素排出による地球温暖化により、自然界が大きな変革期に来ているのではないかと思います。

今年度の県連活動の方針として、

「会、県連の枠を超えた活動」を進めましょう。これにより活動範囲が広くなり、友人が増え、楽しみ（充実感、感動）が増します。また現在「房総の山復興プロジェクト」で行っているような、他団体との活動にも積極的に参加しましょう。

社会全体でも高齢化が進んできております。県連においても同様ですが、普段から体力づくり・保持に努め、長く登山を元気に楽しめるようにしましょう。

本年も皆様と一緒に登山活動を楽しめることを願っております。

<機関紙委員会からのお知らせ>

皆さんの会では、『ちばニュース』を、どのような方法で各会員に公開（配布）していますでしょうか？ 印刷物ですか？ その場合の用紙サイズは？ 両面印刷（コピー）ですか？

（例）A3サイズに両面印刷（コピー）をして、各会員に郵送している会はありますか？

※『ちばニュース』は、『A4サイズ』で編集・発行しています。

以前に、上記の**（例）**を聞いていましたので、『ちばニュースのページ数』を『4の倍数』に拘って編集をしてきました。ところが、最近になり、『A4サイズに両面印刷（コピー）をしている…』という情報が入ってきています。併せて、ネット配信が主流になってきていることもあり、これまでの『4の倍数』に拘る必要性がなくなった…と感じています。それで、今月号（本年2025年1月号）から、『**2の倍数**』で編集することにします。理由は、編集作業の簡素化・合理化です。ご理解とご了解・ご協力をお願いします。仮に、問題がありましたらご指摘をお願いします。（編集子）

2025年 新しい年を迎えて

会計 細村恵子（松戸山の会）

明けましておめでとうございます。

昨年から参加させていただいております県連活動ですが、役員および理事の方々に温かいご指導をいただきましてどうもありがとうございました。

本年もどうぞよろしく願いたします。

県連活動を通して感じたことは、「今までとは異なった山との付き合い方がある…」ということです。身近に山のない松戸で育った私は、「ふるさとの山を守る」という意識を全く持っていませんでした。しかし、この千葉県には守るべき山々があること、そのための活動があることを知りました。

また、10月に行われた筑波山での講習（全国連盟主催、登山寿命を延ばすための講習会）では、「科学的に歩く」ということを学びました。ただ山に登るのではなく登高速度をチェックしながら登ることや適切なトレーニング量を知ることができました。今後もより安全に山に登るために、知識・技術を高めていきたいと思えます。

さて、会計担当といえども県連役員会のメンバーですので、毎月役員会と理事会に参加しなくてはなりません。役員会開催の第2木曜日は職場の部署ミーティング開催日でもあります。役員会は19時からですが、ミーティングが終わるのが早くて18時30分頃です。混雑するロッカールームで着替えをして走って自宅に帰り、オンライン役員会に参加するのが常です。そのおかげで心肺機能が向上したのではないかと考えております(^)v。

勤労者としては、「翌日の仕事が無事終わるまでが登山である」と思っております。皆さま、無事に帰ってこられるように「安全第一」で山に登りましょう。

<ミニミニ情報>

今年2025年の海外登山は、昨年2024年に実施して大好評だった『韓国：ソウル5岳』の残り『3座』を秋に企画したい…と検討中です。5月号に掲載できるよう準備中です。（海外委員会）

新年のご挨拶を申し上げます

女性委員会委員長 広木国昭（ちば山の会）

新しい年を迎える事が出来ました。

私事ですが、ここ数年体調の変化に悩まされる日々が続いています。

今年は、さてどうなるのか、一年一年、一日一日が勝負と思って有意義な時を過ごしたい…と思っています。

なんだか年頭から暗い話になって申し訳ありません。

では、千葉県連盟はどうでしょう。

各委員会を中心に活動を行ってきました。しかし、会員の皆様が満足出来る内容ではなかったと思います。

そして、昨年度も会員数が少数ではありますが減少しました。

加盟会には、会員の「高齢化」と「退会」で存続に直面している会もあります。

県連盟も、会員の力を結集して現状を打破しないと手遅れになるでしょう。

決して楽観は出来ない状況です。

今年度は3月に合同会議を実施し、次年度の定時総会に向けた活動の確認が重要になります。

私の担当する女性委員会も満足な活動ができませんでした。定時総会では、女性委員会の活動存続に関連した提案をしたいと思います。

会員の皆様の忌憚のない意見・要望をお願いします。

新年のご挨拶

教育遭難対策委員会委員長 伊東春正（かがりび山の会）

みなさん、明けましておめでとうございます。

昨年もっとも有益だった話は、オンライン講座で報告していただいた、兵庫労山の「登山能力の改善を目的とした8ヶ月間の筋力トレーニング」です。

週2回の筋トレ（最初は1時間、慣れてくると30分）を8か月間実施した結果、筋力が女性は30%、男性は19%増加しています。

筋力アップにより、「筋肉痛」「脚がガクガクになる」「上りでの息切れ」などが改善され、六甲山での登高能力テストでは、男女とも平均で約20%タイムが短縮しています。参加メンバーの中にはマッターホルンに登れた女性もいました。

まさに「**継続は力なり**」を教えられました。

私たちも何か良い行いを積み重ね、大きな成果を得るようがんばっていきましょう。

新年を迎えて

ハイキング委員会委員長 田中康男（ふわくハイキングサークル）

あけましておめでとうございます。

去年は、中止続きの「浪花駅→御宿駅」ハイキングと、リベンジながら「岩間アルプスを歩く」ができました。バックアップしていただいた方々を含め無事終わったことにお礼申し上げます。

「新緑の岩間アルプスを歩く」の中止の際は、中止の連絡が行き届かず、失礼いたしました。お詫び申し上げます。

ハイキング委員会は、高齢者を意識した企画をしてきましたが、バスの運転手不足などから、「駅からハイキング」が多くなりました。

これらの制約から、素敵なコースの持ち手が無くなりつつあり悩んでいます。去年も書きましたが、少しキツイコースを、二つのコースに分け「健脚コース」と「ゆっくりコース」を企画したい…と思っています。

紛争が収まらず、物価高、複雑に入り組んだ世相に感じていますが、怪我をしないように筋トレをして、また、お会いすることを楽しみにしています。

平和で、皆さまが良い年であることを願って、新年のあいさつといたします。

新年を迎えての抱負

自然保護委員会委員長 菅井修（ちば山の会）

あけましておめでとうございます。

私たちは山に登った時雄大な景色や可憐な花に感動し、また山に登ろうとします。

かつて山には登山者などによるゴミが沢山ありました。これではせっかくの景色も台無しです。そこで労山会員の中から、「山からゴミをなくそう…」という「クリーンハイク」と「啓蒙の運動」が始まりました。現在では、登山者のマナーもだいぶ良くなり山にはゴミが少なくなってきました。

また、最近の地球温暖化や一部の山へのオーバーユース等で、山の自然は変化しています。

山に登る我々は、山の自然を身近に感じる事が出来ます。豊かな自然をいつまでも残す事が出来るように「ゴミゼロの運動」を続けると共に、広く私たちの環境を守る運動を続けて行きたい…と思います。

*県連としてクリーンハイクに取り組みましょう

*自然保護の一環として、各会でクリーンハイクに取り組みましょう

*自然観察などを通して自然への興味・理解を豊かにしましょう

あけましておめでとうございます

本年もよろしく申し上げます

海外委員会/機関紙委員会 委員長 安彦秀夫（東葛山の会）



『県連の仲間とお隣の国:韓国の山を楽しむ…』 そして『2024 ちばニュース 12月号』に特集で掲載

昨年 2024 年 3 月の総会で、これまでの『海外委員会』に加えて、『機関紙委員会』も担当するようになり、これまで以上に気忙しく過ぎた 1 年でした。

「海外登山・ハイキングをしたいが、旅行会社のツアーでは、全く知らない人ばかりなので参加をためらっています…」という声を耳にしています。

『海外委員会』では、そのような会員の皆さんが気軽に参加できるような海外ハイキングを企画・実施しています（してきたつもりです）。

初めてお会いする人でも「県連の仲間」ということで、直ぐに打ち解け合い旧知のように楽しく海外の山を歩き、地元的生活習慣や料理なども目いっぱい堪能することができます。

昨年は、16 名でお隣の国「韓国」のソウル近郊の山 2 座（北漢山、冠岳山）を歩き、下山してからは、マッコリや地元ビール「CASS」で韓国料理を連日味わいました。更に、帰国する日の午前中には、ソウルの街なか歩きやショッピングも楽しみました。

帰国 1 ヶ月後には、現地でお世話になったガイドさんも交えての「オンライン思い出交換会」を実施し、「また行きたいね…！」という声が多く聞かれました。

『機関紙委員会』では、『2024 ちばニュース』を毎月発行し、「県連理事会報告」を初め、「県連行事案内」や「各会の山行・行事報告」などを掲載しました。多くの皆さんからの投稿に感謝します。

本年も、『海外委員会』では、多くの会員が気軽に参加できる「海外登山・ハイキング」を企画・実施する予定です。是非、「ここに行ってみたい…、歩いてみたい…、登ってみたい…」、「こんなエスニック料理を楽しみたい…」、「ショッピングや観光も楽しみたい…」というようなご意見をお寄せいただきたいと思います。

また、『機関紙委員会』では、『ちばニュース』に関するアンケート調査を実施し、その回答を参考に、「是非読んでみたい…」と読んでいただけるようなバラエティーに富み充実した紙面作りに挑戦し続けたい…と考えています。

編集者が嬉しい悲鳴を上げるほどの多くの投稿をお待ちしています。

韓国：仁寿峰（インスンボン）クライミング

船橋勤労者山の会 末吉和徳

日程：2024年10月18日（金）～20日（日） 2泊3日

メンバー：末吉L 元船山等3名

今年も元船山の人と、二泊三日で韓国のクライミングツアーに行ってきた。

出発の日の18日は、何故か外房だけ大雨で、私の乗った電車は、途中で線路が冠水して、一時止まったりして、綱渡りで空港までたどり着いたが、その後の電車だったら、アウトでした。

インスボンは、休日なので多くの人を取り付いていて、我々はワイドクラック主体の「インスB」と言うルートに挑戦。かなり手強く、午前中に取り付いたけど、終了点には午後4時をまわっていて、「これから頂上経由で降りるのは無理…」と思い、来たルートを懸垂で降りたけど、登山道に行く頃はヘッデンだった。後ろを振り向くと、壁の途中にホテルの明かりのように、まだ降りて来る光が見えた。

翌日も重たい荷物を背負って、一時間強の急登をこなし、この日のルートに着くが、先行パーティは、セカンドが先日の小川山の号泣おばさん並みの下手くそさで、しかもまだ1人似たような女性が待機していて、これは無理と判断。

私は荷物番で登らなかったが、皆さん近くの白雲台のハイキングに切り替えて、ピークを踏んで帰った。

結局「1ルート」しか登らなかったが、充実した2日間でした。



台湾：『桃山 Taoshan3325m』 登山

船橋勤労者山の会 酒井 荘多

日程：2024年11月15日（金）～20日（水） 参加者：3名（CL 酒井、SL 畑澤、大艸）

11/15（金） 16:35 成田発。通関後、セブンで弁当とビール等購入。

ピーチ航空 <https://booking.flypeach.com/jp> 往復 49 千円。

20:00 台北着。4 万円：8 千元両替。1 元：5 円。

地下鉄（MRT、160 元：約 800 円）40 分で台北駅。

<https://booking.com> で予約した駅から徒歩 10 分の「チアロンホステル（嘉榮青年旅店）」シングルルーム 1 人 1 泊約 4 千円泊。路地裏の古い建物だが 20m 先にセブンあり便利で安全。まあまあ。



11/16（土） 晴れ。日中は 20℃程。台北駅で特急往復切符購入。往復 440 元：約 2 千円。駅傍の山道具店でガス 2 個購入。駅 2 階のフードコートで昼食。14:09 台北駅発。15:26 宜蘭駅着。駅前の One Night Hostel 大部屋 2 段ベッド 1 人 1 泊約 4 千円。カードキー付ロッカーあり。トイレとシャワーが綺麗。駅裏のバスターミナルで武陵農場までの往復（1 人往復 550 元：約 3 千円）切符購入。駅前夜市で、持込ビールで乾杯し夕食。

11/17（日） 小雨。15℃程度。20m 先のセブン店内カウンターで朝食。07:30 宜蘭発。途中で雨止む。10:30 武陵農場着。曇り時々晴れ。10℃程度。自動車道路を 2 時間半歩くはずだったが、途中で日本人登山者夫妻のレンタカーが拾ってくれ 12:00 頃に雪山登山口センター着。事前に <https://hike.taiwan.gov.tw/> で取得した入山許可を出したら、内務省国家公園から入山禁止令が出たので今日も明日も登れないとのこと。台風の影響らしい。

あきらめて屋根のあるセンター下でツェルトビバーク準備し、のんびりする。大艸さん・畑澤さんがセンター管理人の翻訳機能付きスマホで管理人の奥さんと筆談し、車で迎えに来てもらい桃山滝にハイキングに連れて行ってもらう。16:00 頃に、その車で、センターでピックアップしてもらい 10 分程下にあるキャンプ場のロッジに泊めてもらう。3 人一部屋 2 泊で 5 千元：約 25 千円。



11/18(月)曇り時々晴れ。04:50 標高 2000mのロッジ発。桃山 3325mを目指す。自動車道路を 150m下り、武陵橋を渡り桃山登山口へ。樹林帯を行くなだらかな登山道をひたすら登る。私は 3000mで 11:30 ギブアップ。先に下る。2人はそこから1時間強登り登頂。14:00 頃から霧雨。私は 15:50 ロッジ着。2人は 16:00 ロッジ着。シャワーを浴びて部屋の前庭のテーブルで夕食準備をしていると突然、雪山管理人(王さん)が来てビール6本差し入れてくれて、王さんのスマホで筆談する。大艸さんと畑澤さんは王さんの車でどこかに連れて行ってもらう。あとで聞いた話では、王さん(63歳)は警察OBで、現在、雪山管理人兼レスキュー隊長で奥さんもレスキュー隊員とのこと。武陵農場バス停そばの警察武陵小隊宿舎に住んでいる。そこで夕食をご馳走になり、20:00 頃ロッジに送ってくれたとのこと。私は 19:00 頃に寝ていた。とても親切な夫妻。



台北龍山寺

11/19(火)霧雨。06:00 ロッジ発。07:15 武陵農場バス停着。09:18 発バスで 12:20 宜蘭着。駅前の素食屋(野菜料理バイキング)3人計400円で昼食。13:45 宜蘭発。15:20 台北着。同じチアロン泊。MRT2 駅の瀧山寺の夜市で打上大宴会。ビールと紹興酒をコンビニで買い、外のテーブルで各種料理を味わう。豚の角煮がうまかった。

11/20(水)06:30 台北発。MRT で 07:15 空港第1着。09:40 台北発。13:45 成田着。

今回は、8月に国家公園 web で玉山申請したが、定員の3倍オーバーで10/18 落選メール。雪山申請は定員内で許可取得したが、台風入山禁止令で登れず、許可のいない桃山に変更。まあ、登れてよかった。

小雨降る南国の冬黄花の香 そうた



歴史を感じた八王子城山

市川山の会 松宮 俊一

日にち：11月17日（日） 11月例会は八王子城山 中型バス山行。

参加者：26名（男性11名、女性15名）

西船橋を6時に出発。「曇り後晴れ」の予報が霧雨。天気の回復を期待して首都高速・中央道を順調に走る。調布あたりで大岳山や御前山が見え、青空ものぞいてきた。「圏央道：八王子西インター」で降り、宮の前通りに入ると黄葉した樺の並木が続く。思わず「きれい…！」の声が出る。

8時過ぎに「八王子城跡駐車場」に到着。青空が広がり始め、今日の山行に期待が膨らむ。モミジやイチョウが色づき始めていた。

8時30分、準備体操を済ませ、一般組は周回コース、スロー組は往復コースへ出発。

立体模型で登山コースを確認し、まず小田原北条氏の関東の拠点だった「八王子城跡」を見学。大手門跡から古道を進むと木製の立派な曳橋。当時の絵図ではもっと小さな橋。敵が攻めてくると橋を落として侵入を防いだとか。橋を渡ると当時の石垣が残る虎口。石段を上ると櫓門の礎石が残っていた。冠木門をくぐると土塁を巡らせた広い御主殿曲輪。建物の礎石や庭、会所の床や石畳の道などが復元されていた。その規模の大きさに驚く。坂を下ると落差5m程の御主殿の滝。豊臣方の前田・上杉勢に攻められて一日で落城した八王子城。自刃した武将や婦女子が身を投げ、城山川は三日三晩血に染まったとか。二筋の小さな滝に4百数十年前の悲劇を想像する。

城跡を後にマイナールートの城山川沿いの道を進む。左側の太鼓曲輪尾根には、敵の進軍を防ぐ堀切が五か所も造られているとか。道端には赤い実をつけたフユイチゴがいっぱい。一粒食べてみると意外に美味しい。道幅が狭く急になり、源流部のロープの架かる急坂を登ると稜線に出た。登山道沿いのヤマザクラ、コナラ、モミなどの大木の間から、高尾山方面が望まれた。中央道を走る車の音も聞こえる。ヒサカキ、シキミ、アオキ、シロダモなどの常緑樹が多い。軽装のトレイルランの若者たちに道を譲り、熊笹山を過ぎて登り返すと富士見台。木々の間からわずかに雪をかぶった富士山が望めた。

富士見台からはアップダウンの激しい道が八王子城山まで続く。ミヤマシキミの雌木が有毒な赤い実と白っぽい蕾を一緒につけていた。ヤブツバキも多く花の時期が楽

しみだ。名前の分からない茸も所々に生えていたが、誰も手を出さなかった。

急坂を登ると詰の城天守閣跡、こんな狭い場所に本当にあったのか。途中に二か所、尾根をV字に削った堀切が造られていた。意外に深くて険しい。重機の無い時代の労苦を想像する。一か所には馬冷やし場の石柱。ここで馬を休ませたらしい。片側が切れ落ちた狭い登山道を下り、登り返して井戸の跡を過ぎると松木曲輪。11時20分着。東京・神奈川方面の展望が開け、新宿や横浜のビル群が霞んで見えた。ここでお弁当。気持ちのいい天気、晩秋の日射しが熱いほどだった。

12時過ぎ出発。八王子城山山頂の狭い本丸跡に立ち寄り、鞘堂で守られた八王子神社に参拝して登山の安全を祈願した。杉の大木の間を抜け、滑りやすい登山道を下る。すれ違う登山者も多い。13時、管理事務所前着。既にスロー組は下山していた。記念写真を撮り高尾山温泉極楽湯へ。入浴客が多くてゆっくり湯に浸かることはできなかったが、白濁の湯の檜風呂は気持ちがよかった。

帰りのバスも順調に走り、予定通り午後5時に西船橋に着いた。

11月例会は天気に恵まれ、『歴史を感じる変化に富んだコース』で、満足した山行になった。



荒船山 — 臚岩を眺めながら

かがりび山の会 中村 雅代

<日程/ 天候> 2024年11月23日(土) / 快晴

<参加者> 13名 (CL:牧野、SL:小野寺、水落、大橋、菊池、伊藤、吉武、廣田、
檜本、大下、小竹、神原、中村)

<コースタイム>

柏駅西口 5:30⇒柏 IC⇒常磐道～外環～関越道～上信越道下仁田 IC⇒

8:40 内山峠登山口 8:50→9:45 鈇岩修験道場跡→10:10 一杯水→10:45 臚岩展望台

10:50→11:30 経塚山頂 11:50→12:00 荒船山 (テーブル部休憩) 12:30→14:20

内山峠登山口 14:30⇒大島鉱泉 16:30→上信越道富岡 IC～幸手 IC⇒柏 20:00

<特記事項(コースの特徴・注意事項)>

荒船山は、荒海に行く航空母艦のような山だ。紅葉の美しい時期に、最短時間で山上の展望と頂稜台地の展望を楽しむ。臚岩展望台からは浅間山が特に美しい。遠くには北アルプスが見え、眼下には神津牧場や車道が箱庭のように見える。登山道は良く整備され歩きやすい。危険箇所はない。



目指す荒船山



樹林帯を歩くが、葉はすっかり落ちていた

<リーダーコメント>

残念ながら、紅葉は終わっていましたが、天候に恵まれ、青空の下、太陽の光を浴びて輝く「霧氷」を見ることが出来ました。寒風の中、初冬の荒船山を楽しみました。

<山行報告>

到着時には内山峠の駐車場が満車のため付近の路肩に駐車。先日までの気候とは一変、さすが群馬県、赤城おろしが冷たい。ダウンを着込んで出発する。落葉した初冬の風情の木々の間の静かなルートを進むと稜線にある臙岩（ともいわ）が見えてきた。その先の経塚山の辺りは何故か白くふわふわと見えた。一杯水の先には、滑りそうな岩、梯子、ロープがあり、注意して登っていくと、平らな場所に出て急に視界が開けた。

ここが臙岩だ。強風の中、眺望は素晴らしかったが、柵もなく、転落注意！

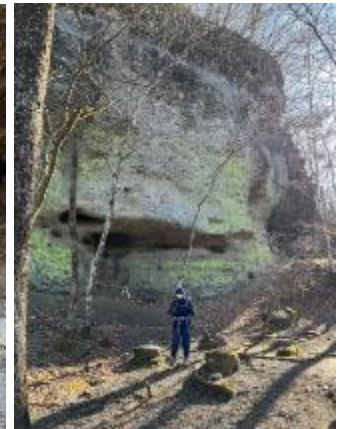
その後、経塚山へと平坦な道を進むと、陽光でキラキラしている木々の枝に出会った。霧氷らしい。その先、山頂までは一部急斜面があり、ルートが凍っていて、一步一步足元を確認しながら慎重に歩いた。山頂は更に寒かったが木々が凍っていて綺麗だった。少し降りたところの陽だまりの樹林帯で昼食とした。下山後は温泉の湯船で温まって帰路についた。快晴の中、初冬のいい歩きが楽しめた。



臙岩修験道場跡



岩を見ると、登りたくなる??



一杯水



臙岩が見えてきた



経塚山が白くふわふわして見えた。何故？

岩場を三点支持で。梯子やロープもあり、慎重に登った。



鱧岩から眺望が素晴らしい。浅間山に雲が…



高さ 200mの断崖絶壁、覗いてはダメ！



後方に注意して！！はい、ちーず！





歩いていると、太陽の光に反射してキラキラと木の枝が光っていた、とってもきれい！



経塚山山頂への道は、凍結



山頂に到着



白いふわふわの正体



霧氷をバックに！出会えてよかった



陽だまりでランチタイム



艦岩をバックに



深田久弥終焉の地『茅ヶ岳』を訪ねて

茂原道標山の会 三須美江子

日にち：令和6年11月23日（土） 天候：晴 参加者：6名

コースタイム

大網 5:19-5:44 千葉 5:53-6:31 東京 6:39-6:53 新宿 7:00 あずさ1号-8:36 蕪崎
蕪崎 バス 8:51~9:15 深田記念公園

深田記念公園 9:30 出発…10:00 林道分岐…女岩周辺…12:00 稜線鞍部 12:25…
12:30 深田久弥終焉の地…13:05 茅ヶ岳 13:15…千本桜分岐…15:15 林道分岐…
15:40 深田記念公園 バス 16:18~16:35 蕪崎

蕪崎 16:53 あずさ44号-19:16 新宿-千葉-21:12 大網

山行記録

5時19分6名の参加者で出発。新宿で「あずさ1号」に乗車。隣にはまだいなかったの
ので朝食を摂る。立川で空席無しになる。予定通り蕪崎に着き、駅からバスで深田
記念公園行き。このバスも最終日とあり40名を超えるぎゅうぎゅう詰め。運転手さ
んから「最高人数の乗客数…」とのこと。往復割引で1,100円を払い降車。

準備して予定通り9時半出発。緩やかな坂道に行く。30分程で林道分岐。衣類調整
など休憩をとりながら、後からの登山者を先に譲り我々のペースで登る。すっかり葉
を落とした樹林の間からのぞく真っ青な空と心地良い風が気持ちいい。

だんだんジグザグの急騰が続き女岩の周辺に着く。落石でロープを張ってあり、迂
回路に行く。そこからもしばらく急騰が続きやっと鞍部に出る。2名休んでいて我々
も休憩し昼食を摂る。20分ほど休み狭い尾根を登ると、深田久弥終焉の場所に石碑が
立っていた。前に来た時より新しくなったようで目立った。そこからまもなく登ると
頂上に着く。

1704メートル山頂からは天気も良かったので八ヶ岳連峰など眺望はすばらしい。

写真を撮り尾根コースを下山。千本桜分岐でちょっとまごつく（千本桜公園への道
を少し下ってしまう）。林道分岐から深田記念公園に15時40分下山。

バスがちょっと遅れて気をもんだが予定通りのあずさに乗る。新宿で人身事故の為
遅れがでて大網に21時12分着。

反省と教訓

岩や石が落ち葉に隠れた所な
どがあり、滑りやすい箇所があ
った。

蕪崎駅から見た「茅ヶ岳と金
ヶ岳」は並んで見え、八ヶ岳とそ
っくりで『ニセヤツ』と呼ばれて
る所以が分かった。



クリーンハイク・どんぐり散歩 23

「手賀の丘公園」周辺クリーンハイク

岳人あびこ 小野泰子

11月24日、天候に恵まれ「クリーンハイク・どんぐり散歩 23」を実施できた。参加者は12名。なかには前日の山行で帰宅が午後11時半過ぎになったという参加者も複数いて頭が下がった。有難い。流石、「岳人あびこ」である。

「岳人あびこ」では、以前「手賀沼一周コース」のクリーンハイクを実施していたが、2022年度から手賀沼一周コースよりもはるかにゴミが多い「手賀の丘公園」周辺でのクリーンハイクに…と場所を変更した。手賀の丘公園は手賀沼の南に位置し、柏市の管理する公園では最も広い面積を有している。変更のきっかけは、自然保護活動の一環としての「どんぐり散歩」だった。自然観察を主目的とするどんぐり散歩への参加者から「ここゴミがとっても多いね。手賀沼周辺ではゴミは少ないから次からクリーンハイクはここにしたら…」と提案があり、ゴミの多い方へと変更した。そして柏市役所環境サービス課と連絡を取り合い、ゴミ袋の提供・ゴミの回収を協力していただくことにもなった。



初年度2022年は、「拾っても拾っても……」というクリーンハイクだった。しかしその後、目に見えて道路にはゴミが少なくなった。2023年、2024年とゴミの量は減少した。

『ゴミ0:ゼロ』を目標とするのは無理だが、「綺麗なところにはゴミは捨てにくい…」という心理が働く。綺麗な状態を維持できるように協力している。

手賀の丘の初回クリーンハイクに比し、ゴミの量は少なくなってきた。

実施日	場所	参加者数	時間
11月24日（日）	手賀の丘周辺	12名(男性1、女性11)	9:00～14:00

回収ゴミ（単位：kg）

ペットボトル	カン類	ビン類	乾電池等の危険ゴミ	可燃ゴミ	合計
4.0	6.7	3.6	1.1	24.6	40.0

「どんぐり散歩」は自然保護活動の一環として、2022年度から自然観察を目的に実施している活動である。今回で23回を迎えた。(雨天中止もあり)

自然観察では「実」の類を多く見られた。今回の観察の例として、写真の「蔓状の豆」を観察する。



この豆は、ゴミ拾い途中の路傍で木に絡みついていた。「トキリマメ：マメ科」で、9月頃黄色い小さな花を複数つけ、11月中旬には赤い豆が完成している。口を開けた赤い豆のさやのへりにツヤツヤした黒いまんまるお豆（種子）が2個付いているのが写真でわかる。赤と黒の取り合わせはとても目立つ。里山でよく目立っている。赤一色でもなく黒一色でもなく、赤と黒が同席しているからこそ引き立っている。時に植物はこのように目立つように2色を取り合わせ、より目立つようにしている。

『2色効果』という言葉さえある。何のため？「鳥」に食べてもらうためである。例えば、ヒヨドリは赤を識別できる。赤に惹かれてやってきてすぐそばにある黒の美味しそうな種子を飲み込むようである。種子を飲み込んだヒヨドリはいずれ糞を出す。糞の中の固い種子は消化されないのでヒヨドリが飛んでいく先々に蒔かれる。トキリマメは自分自身では場所を変えられないが、種子は鳥などに運ばせて分布を広げる工夫をしている。植物の生き様の端っこを覗くことになる。



こんなふうに観察を重ねると、

気づきがあり興味が湧く。

知れば知るほど面白くなっていく。



(忘年山行) 鶏足山 ～ 焼森山

岳人あびこ 矢野朝水

2024年12月1日(日) 6:10 貸切バスにて我孫子駅北口郵便局前出発。6:35 柏 IC から常磐高速に入る。筑波山が朝日に輝く。友部 SA でトイレ休憩 7:15/25。7:30 友部 IC で高速道路を降り、8:00 鶏足山登山口駐車場に到着。快晴。山は黄色に染まる。麓には茶畑。

8:10 34名の参加者が4班に分かれ、A、B班は鶏足山→焼森山→登山口のコース、C、D班は焼森山→鶏足山→登山口のコースに出発する。

青空や頂上めざす秋の山

茶の花や山の麓の日だまりに

C班のL 矢野朝水は登山道に入ってすぐ左の脇道に入る。6月に下見した時と違うような気がして引き返そうとするが、スマホを見ていた同僚が「この道でも焼森山に行ける」との助言を得て、葉が落ちつくした枯木の山に登る。6月に下見をして記憶が薄れていた。あまりにも早く下見をするのは考えものだと反省する。

枯葉踏みたどる急登の枯木山

枯木中友の姿の見え隠れ



尾根道に出る。右折して進むと「焼森山」入口。左折して焼森山に行くと座禅石の先が急な下りになっており、時間もないため焼森山山頂は断念し、元の尾根道に戻る。

尾根道を進み 10:05 鶏足山三角点に到着。写真撮影の後、しばらく休息し「見張台」に向かう。

10:25 鶏足山見張台(山頂)に到着。視界が開け、遠くの山々を一望する。右手の山は日光の男体山、左は浅間山だろうか。栃木から群馬、長野に至る山容は絶景!

冬青空一望千里の山の波



元来た紅葉、黄葉の尾根道を進み、左折して杉の森を下る。
右ひだり紅葉黄葉の尾根の道

11:30 登山口駐車場に到着する。A, B 班は 10:40 に到着。
全員で写真を撮り、11:40 ホロルの湯に向かう。



12:15 ホロルの湯に到着。温泉に浸かり、昼食。ゲームをして 14:40 ホロルの湯を
出発する。
温めの温泉（ゆ）伸ばす手足や紅葉宿

水戸 IC から高速に入り、友部 SA で休憩 15:30/45。日の入りは早い。夕日を浴びて
筑波山が輝く。
濃紫に映える筑波嶺冬茜

高速が混んできたので谷田部 IC で高速を降りる。窓外に富士山のシルエットが浮
かぶ。取手を経て 17:30 我孫子駅北口郵便局前到着。
黒々と浮かぶ富士の嶺冬夕焼

忘年山行の幹事としては天候が一番の気がかりだったが、好天に恵まれ何よりだっ
た。貸切バスの運賃が高騰する中、予算をオーバーせずに済んだのも有難かった。

奥武蔵： 官ノ倉山・金勝山（2024. 12. 7）

低山ながら気の抜けないハイキング

山の会らんたん 府川隆一

前日の天気予報では、「翌日から本格的な寒さが到来する…」とのことで、低山ではあるが防寒用意をしてきたがそんな寒さには遭わず、むしろちょっとしたポカポカ陽気の中でのハイキングであった。雲一つない秋晴れ、若しくは小春日和と言ってもよいような、初冬の低山ハイキングを楽しむことができた。

前半の『金勝山』は緩やかな勾配で比較的ゆったりした気分であつた山であつたが、後半の『官ノ倉山』は頂上直下の岩場めいた登り坂や木の葉で埋もれた急な下りがあつて転倒しないように注意して歩かなければならなかつた。又、『官ノ倉山』から『石尊山』への登り返しや、『石尊山』からの下りに鎖場があり、低山ながら気の抜けないハイキングであつた。

『石尊山』の鎖場からの下山に時間を要したこともあり、先発隊の6人には早めに下山をお願いした。

ともあれ、全員何事もなく初冬の低山ハイキングを楽しむことができた。
みなさん、お疲れ様でした。



忘年山行「塩原温泉（鶏鳥山と塩原自然研究路）」に参加して

東葛山の会 中野健一

◆ 行程など

<1日目: 12月15日(日)>

集合地点の鎌ヶ谷市総合福祉センターから貸切バスにて出発。藤原登山口に10:20到着すると積雪があるためゲーター等準備して鶏鳥山に向け登山を開始。



丁度良い加減の雪かと思いながら歩きますが、「枯木沼」を過ぎた辺りから少し雪が深くなってきたように感じます。「弁天沼」に12:17頃に到着したところで昼食としました。

昼食後、ここからは傾斜も急となるためリーダーの指示で(軽)アイゼンを付けて登ることにしました。

ところが、ワンタッチ式の(軽)アイゼンを持参したメンバーのうち何名かは留め具部分の劣化等により上手く装着することが出来ませんでした。そこで、他の仲間から予備を借りたり持参した結束バンドで補修したりしてなんとか準備しながら歩き始めます。



アイゼン補修等で何名かのメンバーは準備に手間取ったことと、積雪のある急斜面で歩行スピードに差がついたこと、帰りのバスの時間もあること等から「山頂を目指すグループ」と「無理をしないで途中までのピストンとするグループ」に分かれて登ることになりました。

結果、全員ではありませんでしたが、13:33には山頂到着。頂上は少し風があり寒く感じましたが、筑波山まで見えるほど展望が良く、途中(時間切れで)諦めないで何とか登った甲斐があったように感じました。



下山途中で、他のメンバー全員とも合流。1日目は15:33頃「西口登山口駐車場」に全員下山。待っていた貸切バスに乗車して、今夜の宿「明賀屋本館」に到着。

18:30 過ぎから夕食（忘年会）。くじ引きで席順を決めて各自一言ずつ自己紹介等を行う。皆さん、山歴だけでなくお仕事や地域活動、趣味など多方面でご活躍している方ばかりで驚きです。自分はどうしても良いことしか話せなくて残念でした（笑）。

その後、夕食（忘年会）終了後の部屋での2次会？では会長とKさんの会運営についての激論等には、耳を傾けるばかりでしたが、アットホームで楽し気な会の雰囲気は新人の私にも伝わってきました。

<2日目：12月16日（月）>

起床後は、朝食（7:15 から）までの時間を各自入浴等で過ごす。朝食後に宿で働くミャンマー人のスタッフ等に見送られ、バスで登山口に向かいます。

8:47 頃から新湯（あらゆ）温泉神社の登山口から新雪の残る階段を歩き出し、噴煙と硫黄の温泉臭の中、塩原温泉郷（新湯）を遠目にして新湯富士を目指して登ります。



風は強くないが、気温が低いためか体が温まらない状態です。足の先が冷たいとか手指が冷えるとか言いながらも登ります。

雪も深い所は10cm程度かそれ以上あるようで、なおも急坂が連続すると、「自然研究路」と聞いて平坦な散策路をイメージしてたのとは少し違うのではないかと皆が気づき始めます。

雪の中、倒木を迂回したり、滑り易い急坂に苦戦しながらも10:16頃に新湯富士山頂（標高1,180m）に到着。

展望は有りませんが、日の当たる場所は暖かくて冷えた空気が心地良く感じます。

小休止後に下山しますが、大沼までの下山路も中途半端な雪で石交じりの急坂。百戦錬磨の会長の口からも「歩き難い…」という声が漏れる程です。

稜線上から白く見えた大沼には、11:21 頃到着。



晴れ間から見える青空と雪景色のコントラストも良かったです。
大沼脇の木道を経て、途中落ち葉の中を小太郎ヶ淵の先にある舗装道路との交差点に
13:22 頃下山。到着後、送迎バスに乗り「みかえりの郷・彩花の湯」に向かいます。
入浴・釜めしの食事後、貸切バスで新鎌ヶ谷まで。(19 時前に到着)

◆ 感想

「忘年山行」への参加は、正直少し迷いました。私は、お酒が飲めないことと加入したばかり(11/22 の加治丘陵が最初の山行でした)で、親しく話せる友人も居なかった為です。

ですが、行き帰りの貸切バスの中や山行中でもメンバーの方から気軽に話しかけて頂き、忘年会の席上でも自己紹介形式で新人の私たちを暖かく迎え入れて頂いて当初の心配は霧散しました。

きっと、安彦会長はじめ役員の方々の影ながらのご配慮もあったのだと推察します。また隣席で気軽に話しかけて頂き、家族とでも登れそうな日本百名山の情報等も教えて頂いた K さん(女性)、今度一緒に行く日本百名山の約束をしてくれた K さん(男性)にも感謝です。

帰りのバスで観た夕焼けと富士山のシルエット、赤焼けの満月、空気が澄んでいたのか木星と金星の輝きも印象的で記憶に残りました。お陰様で私にとっては、楽しく実りある忘年山行となって嬉しく思います。

改めてチーフリーダーやサブリーダーはじめ、参加メンバーの皆さまに感謝申し上げます。2 日間有難うございました。

40 年ぶりの鶏頂山と塩原自然研究路そして明賀屋本館

東葛山の会 安彦秀夫

毎年 12 月初・中旬に、泊りでチョットした雪と秘湯を訪ねる『忘年山行』を、地元の『鎌ヶ谷観光バス(有)』の協力を得て、30 名前後の参加者で楽しんでいます。

しかし、コロナ禍が直撃し、2020 年には中止せざるを得ませんでした。翌 2021 年に日帰りで『破風山(秩父)(バス利用)』を何とか実施しました。

また、海外登山ができる状況ではなかったので、船旅を味わう『国内ミニ海外登山』をキャッチフレーズに 2022 年に『伊豆大島：三原山と島内観光』を楽しみました。

これが好評だったのか、「来年は是非八丈島…」という声があり、2023 年は『八丈島：八丈富士と三原山』を実施しました。ただ、『ホテル』と『ホテルと登山口の移動手段』の予約・確保には、かなり苦労しました。

「やはり忘年山行は雪上ハイクだね…」ということで、40 年ぶりに今回のコースを実施しました。幸い、5~15cm の積雪と晴天に恵まれ、2 日間を楽しむことができました。ただ、コースの大半の記憶がなく、初めて歩いている感覚でしたが、最後の最後に『小太郎ヶ淵』に佇む『茶屋(冬季休業)』を見つけ懐かしく眺めていました。

忘年山行…雪道を楽しむ…

まつど遠足クラブ1年さくら組 内藤光雅

山 域： 鬼怒沼（日光澤温泉）

期 間： 12月21日（土）～22日（日）

参加者： L西村、男3人女5人、 特別参加： 田中孝平さん（ちば山0B）

日 程： 1日目 新松戸6:30⇒（東北道）⇒女夫淵温泉10:30/11:00

…日光澤温泉13:30

2日目 日光澤温泉9:00…ヒナタオソロシの滝分岐9:30…日光澤温泉10:00

…女夫淵温泉12:30/13:00⇒やしおの湯（入浴）14:00/15:00

⇒（東北道）⇒新松戸18:00

参加者8人と、新年山行以来のたくさんの参加者となりました。会員の高齢化も進み、全員参加ができる山域を計画するのにリーダーはいつも苦心しています。

特別参加の田中さんからは、歩行中にはストックの使い方、足の運び方、また、宿では事故事例に対する対処など貴重なレクチャーを沢山受けました。

◆ 1日目：12月21日（土）

駐車場より遊歩道を進む。積雪はほとんどなく、軽アイゼンを装着することもなかった。数名の登山者とすれ違うだけであった。

日光澤温泉では乳白色と透明の湯と2ヶ所の露天風呂を楽しむ。リーダーと知り合いのグループが同宿であった。

◆ 2日目：12月22日（日）

前夜からしんしんと雪が降り始めて、早朝には宿の屋根に30cmほど積もっている。アイゼンを装着して、ヒナタオソロシの滝分岐まで往復する。途中に大きな氷瀑が見られる。6～7人のネイチャーガイドが案内しているグループとすれ違う。

日光澤温泉からの帰りは、車道沿いを歩く。行き交っている加仁湯温泉の送迎バスにはたくさんの温泉客が乗車していた。久々に白銀の景色を楽しめた。



新雪の橋前にて



氷瀑前にて

『石射太郎～高宕山～八良塚周回登山路』調査報告

2024年12月2日 千葉労山 野田久生

房総の山復興PJ活動の一環として、表記調査山行を行いました。

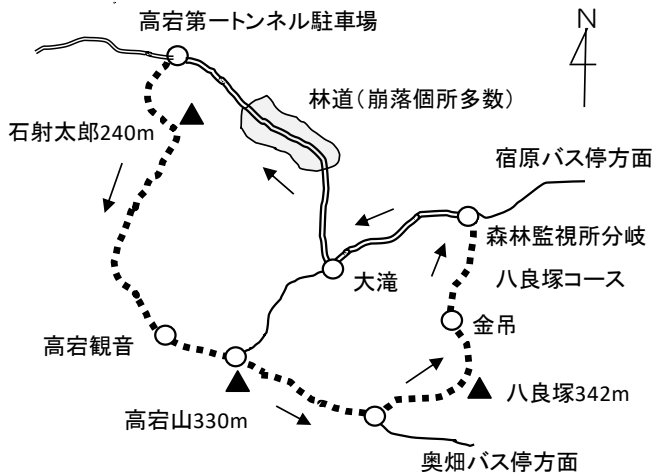
日程： 2024年11月29日（金） 現地天候：晴

参加者： 千葉労山 男性4人、女性1人 自家用車利用

高宕山登山口P 発 9:10→石射太郎 9:30（休憩） 9:40→高宕観音（昼食） 10:50-11:15
→高宕山 11:30（快晴、風強い）→八良塚 13:15→金吊（岩場）→林道出会 14:35→
林道歩き（崩落場所多い、車通行不可）→登山口P 着 15:45【所要時間：6時間35分】

平日にも関わらず、数台の車が駐車している。登山口より石射太郎に登る。登山道は整備されている。高宕観音まで同様に整備された尾根道のハイキングコースを歩く。

高宕観音で一休み。高宕山頂までの岩場を注意して登る。山頂は風が強い。景色が良く富士山が良く見える。八良塚手前のモミの倒木より先はYAMAPでは通行禁止となっているが注意して歩けば支障はない。八良塚は展望がない。ここより一旦沢沿いにする。尾根道のコースは整備されているが、金吊の付近要注意。途中より林道に出る。この林道、崩落箇所が多数あり、車は通行不可。崩落場所には登山道がつけられている。この周回コース距離が長いので一般ハイキング向けではない。途中岩場などもあり要注意。コース全体は倒木など処理されており通行に支障はなかった。



石射太郎・高宕山登山口



途中の道標（新しい）



高宕山山頂



足場はしっかりしている



八良塚手前の台風で倒れたモミの木の前で



八良塚 展望はない



下山路 切立ったところもある (金吊)



崩落した林道 修復不能？



崩落場所につけられた登山道



こんな場所もあります



倒木処理も行いました

『第22回全国登山者自然保護集会 in 徳島県』に参加して

かがりび山の会 山本久美子

ちば山の会 菅井 修 (Zoom 参加)

【日 時】 11月16日(土)～17日(日) 徳島県青少年センター

【参加者】 会場33人 オンライン11名

【内 容】 13:15～

◆ 講演1 四国における山岳地域での風力発電等の状況について

黒田太士 氏(えひめ風力ネット代表)

各地で大規模な「風力発電計画・建設」が行われていることより「えひめ風力ネット」を立ち上げた。メリットとして温暖化防止や大気、水などの汚染が少ないことが言われているが、生活環境の悪化や自然環境の悪化等のデメリットも多い。



*山間部では自然破壊や建設のための森林伐採による

土砂災害、灌漑水源の枯渇、鹿の増大、鳥類の生息環境破壊、渡り鳥の減少

*里山や住居地域の近くでの生活環境の悪化

低周波公害、日中での風車の影によるストレス、夜間の照明での自然リズムの破壊
これらと風車の因果関係の立証が難しい…。

しかも、発電した電気は地元還元されず都市へ。「利益は都市へ、負担と災害は地元へ」という構造になっている。大型風力発電は、地元には何ら利益をもたらさないばかりか、むしろ地域を破壊し、過疎化を促進する。

◆ 講演2 「剣山山系におけるニホンジカの食害と対策について」

森一生 氏(県西部総合県民局)

温暖化に伴う積雪量の減少で最近では剣山 山頂近くまで生育が広がっている。

鹿の嗜好性が高いと思われる木を減らしているが摂食圧が続いている。

剣山を代表とする「キレンゲショウマ」は鹿防護策内でのみ生息している。

【講演を聴いての感想】

地球温暖化が叫ばれ CO2 削減が緊急の課題となっている今、自然エネルギーの開発はどうしても必要だと思います。山間部などでの大規模な風力発電は、自然破壊であり、賛成できない。人家近くでもかなりの問題があることが示された。火力発電は早急に縮小すべきであり、原発はもってのほか…と私は思います。

自然エネルギーとしての風力は有望な代替えと思っていますが、どのように活用すべきか講演でもこれからのエネルギー政策について話してもらいたかった。

以後本部の Wi-Fi 不調で各県からの報告は十分参加できなかったもので、山本さんからの報告とします(菅井記)

各県からの報告（以下 山本記）

埼玉県、静岡県、京都府、Zoom で宮城県、滋賀県、神奈川県。会場で参加者と課題の共有をして議論を深めた。



<第2日目：17日（日）>

剣山にて登山道整備、シカの食害による被害の実態と防護柵の実態視察

見ノ越駅～西島駅～（鹿の食害の様態と防護柵の設置方法など観察）～剣山山頂～記念撮影・昼食～大剣神社見ノ越（解散）



<鹿の食害防護柵>

ネットは、降雪による支柱ポールの破損防止のため下している。

春が来ると元にもどすが、全てボランティアの協力を仰いでいる。



<剣山山頂>

一等三角点標識維持のため立ち入り禁止となり石で囲まれている

近年の登山者オーバーユースの踏み荒らし対策として、「木製の遊歩道」が設置されていた。



剣山山頂にて

『関東ブロック自然保護交流集会』報告

自然保護委員会委員長 菅井修（ちば山の会）

<日時> 11月23日（土）～24日（日） 場所：群馬県立北毛青少年自然の家

<参加者> 22名（神奈川2、埼玉2、千葉1、東京5、茨城1、栃木1、群馬10）

◆11月23日（土）

1. 講演会 講師：群馬県林業試験場長 坂庭浩之氏

テーマ：「ヤマビル・マダニの特徴と被害対策」

群馬県内でもヤマビルやマダニは
広く分布している。

ヤマビル

大型ほ乳類の増加に伴い急速に拡大
哺乳類以外カエルなどからも吸血

ヤマビルは吸血出来る皮膚ですぐに吸血を始める

→ 現場に行く前の対応が肝心

- (対策) ・「デイト30%」や「イカリジン成分の虫除けスプレー」を
全身に散布する。塩水に浸した靴下などを履く。
・現場を離れる時には付着していないかを確認し、
分布を広げないようにする



マダニは吸血まで半日ぐらい全身を這い回る

→ 現場に行った後の対応が肝心

- (対策) ・野山へ行く前にダニ対応のスプレーをかける。
・「キンチョール」は良く効くそうです。

*マダニに食いつかれた場合、引っ張ると切れて、皮膚はすぐにふさがり
頭部が残ってしまう。

1、医者に行く。

2、パール状の先が2つに割れた「マダニ用小型ピンセット」で挟み廻すように引く。

2. 各県連盟からの活動報告（以後議事録より）（報告者敬称省略）

【群馬県連】報告 戸澤

- ① 足利のクリーンハイクへの参加
- ② 足尾の植樹への参加
- ③ 谷川岳のクリーンハイク
(7月の山開きの日)
- ④ 玉原湿原で外来植物の駆除
(市に許可)
- ⑤ 太田市金山でのクリーンハイク

【神奈川県連】報告 中村

- ① 「丹沢に年に一度は恩返し」5月26日にクリーンハイクを実施
場所：塔ノ岳・大山周辺
- ② 春、秋の植樹（主催：丹沢自然保護協会）への参加
- ③ 東日本震災復興支援活動
- ④ 丹沢自然保護協会主催「草刈り十字軍」参加
- ⑤ 自然保護功労者として神奈川県より表彰



【埼玉県連】報告 瀬下、橋本

- ② 高篠峠の植樹地下草狩り
- ② クリーンハイク（各ブロックで実施）
- ③ 東北復興支援
- ④ みちのく潮風トレイル
- ⑤ 登山道整備 6月3日 秩父御嶽山で実施 参加者 10名

【千葉県連】報告 菅井

- ① クリーンハイク
 - ・千葉の山は 300m 前後の山が多い
 - ・山でのごみは少ないので川や沼での清掃活動実施
 - ・浜には多くのプラスチックやペットボトルが漂着
 - ・マイクロプラスチックは魚を通して人体に入る
 - ・磯根海岸でのクリーンハイク 92kg
 - ・花見川でのクリーンハイク ごみ収集量合計 158Kg
- ② 全国自然保護講座 in 千葉南房総（6月）
- ③ 講座内容の紹介 WeB 講習会 18名参加（8月）
- ④ 山岳3団体で山の倒木をチェーンソーやノコギリで除去

【東京都連】報告 安田 今西

- ① クリーンハイク
 - ・クリーンハイクを10日間やっている会もあります
- ② 観察会
 - ・春に高尾山での観察会
 - ・秋の三頭山での観察会は天候が悪く中止
 - ・三ッ峠でアツモリソウの保全を兼ねて観察会
- ③ リニア新幹線の視察

【茨城県連】報告 高橋

- ① クリーンハイク
 - ・ハイキングコースではごみはほとんどありません
 - ・草刈りをやりながら竹林整備をやっていきます
- ② 自然観察会
 - ・御前山の植物のリストを作成
 - ・下見のとき標高140m付近で3本のブナを発見

◆11月23日（土）

【栃木県連】報告 八木澤

- ① クリーンハイクの結果
- ② 足尾の植樹の参加結果
- ③ 登山道及び避難小屋の維持活動
- ④ 栃木県山岳四団体:那須クリーンキャンペーン
9月第1日曜日に実施

* 『埼玉県の山 おすすめルート41』の紹介

10:00～ 群馬天文台見学



10億円の望遠鏡

第 38 回房総ハイキング

皆で歩こう！大海原を眺めながら…

さと海さと山：勝浦岬巡り

日にち： 2025 年 **1 月 25 日（土）**（現地集合・現地解散）**日帰り**

集 合：**JR 勝浦駅改札口前 午前 8 時 40 分**

コース： 勝浦の岬を巡る（勝浦朝市 雛を飾る階段 官軍塚公園 等）

歩行時間： **5 時間 30 分（休憩含む）**

各会で行動（帰り道 迷わないよう詳細に書いています）

移 動： 電車 千葉駅から 1,342 円（片道）

自家用車は「勝浦ホテル三日月」東側に無料の大きな駐車場あります
徒歩約 10 分で勝浦駅

お薦め電車（往）： JR 千葉駅 6 番線 千葉駅 7:10 発（外房線：上総一宮行き）

上総一宮（安房鴨川行きに乗り換え）勝浦駅 8:35 着（1 時間 25 分）

コース： 勝浦駅 8:50 出発 …勝浦朝市…雛を飾る階段 9:50 **遠見崎神社**…虫浦トンネル

…10:30 **八幡岬公園** 10:50 …**与謝野晶子詩碑**（海中公園方面の眺めが良い）

…11:20 ⇒ **勝浦灯台**を通過…**官軍塚公園** 12:00（昼食）12:30 …

（来た道を引き返し 最初の別れ道を右に下り、次の T 字路を直角に右へ）

…万名第一トンネル…万名第二トンネル…13:00 **河津港**…**津慶寺** 13:40…

（以下 詳細）

登りきったら川津北トンネル…道なりに約 500m 進み、道幅が広がった

ら大きく右に…（進むと右手奥に高層住宅が見える）…T 字路を左へ

…直ぐの信号のある交差点を直進…車通りの多い道路（R128）に出たら歩道

を右に 40m 進み、信号で道路を横断…歩道トンネル（探すかも）をくぐる

…道路（R297）に出たら標識に従い（まず右 次が左）…勝浦駅に 14:20 解散

『勝浦駅からの電車』：（上総一宮・千葉 行き）14:01 14:32 15:01 16:06 16:45

問合せ・参加申込： 田中康男（ハイキング委員会）

E メール：dz05434@nifty.com TEL:090-8331-6858

各会で纏めて参加申込みをしてください

（連絡窓口担当者のメールアドレスと携帯電話番号を明記）

参加申込締切：2025 年 1 月 12 日（日）

<トイレ情報>

*駅のトイレが少ないので、列車内で済ませてください（上総一宮駅：乗換時間 5 分）

*官軍塚公園から先に公共トイレはありません

（河津漁港にプラスチック製一つあるが、漁業関係者用だと思います）

中止の場合、1 月 22 日（水）19:00 に各会窓口メール配信

ご無沙汰でした～

『ワンコイン講習会』です!!

楽しく、自立した生活のため

『栄養学』と『筋トレ』を学ぼう!

実施日 2025年**3月8日(土)** 13時～16時

場所 船橋市西部公民館 第1&2会議室(2F)

(JR総武線下総中山駅下車・徒歩10分)

参加費 ワンコイン(500円)

講師 石田 良恵 先生

紹介・保健学博士

・女子美術大学名誉教授

・フロリダ大学スポーツ科学研究室客員教授

(1989年～1990年)

専門は皮下脂肪・減量・加齢

退職後、登山に目覚め。日本の山からヒマラヤ、キリマンジャロ、ブータン、台湾などで、登山を通じて筋トレの必要性を実感する。

・高齢者が「楽しく自立した生活を送るために」学びましょう。

・会員の実体験を披露し合い経験交流をしませんか。

◆ ワンコイン講習会とは

いつまでも山に行ける体力を維持するために「楽しく学ぶ・正しく学ぶ」をテーマに実技講習会を15回実施してきました。(千葉県連・女性委員会主催行事)

今回は「自立した生活と栄養」をテーマに、講師は栄養学の専門家「石田先生」です。

◆ 日常生活や山での「これなんだ? こんなときどうするの?」等について、参加者の経験を交流したいと思います。

バテタ時のサプリは何を? 筋肉痛にはアミノバイタル?

足がつった時は「芍薬甘草湯」が良いよ?

その経験を披露して下さい。

問合せ・連絡先: 廣木國昭(女性委員会)

Tel:090-8316-2020 E-メール: danphiro@jcom.zaq.ne.jp

2024 年千葉県勤労者山岳連盟 事故一覧

教育遭難対策委員会

*千葉県連の2024年1月～12月の事故一報は、『10件』で、件数としては例年並みである。

*登攀事故が『5件』発生しており（例年は1件以下）、原因（カム外れ、バランス崩れ、足が滑る、落石）・年齢・経験もさまざまであり、登攀はリスクが高いことを示している。

*転倒事故は『3件』（例年より少ない）で、すべて『70歳以上』である。

No	所属	性別	年齢	事故発生日時	山域	山名	場所	山行形態	原因	事故の状況	傷病名	パーティ人数
①	山の会「岳樺クラブ」	男	52	1月8日9:30頃	岐阜県	屏風山	屏風岩	登攀	転・滑落	新人クラック(5.9NP)をオンサイト狙いでリード登攀。2つ目のカムをセット後に滑落、カムが外れて2m空中落下し背中からグランドフォール。	胸椎～腰椎3カ所の圧迫骨折	3
②	ちば山の会	女	70代	3月10日11頃	茨城県	雪入山	雪入山からあきば峠への下り	無雪期	転倒	急な道を降りた後、なだらかになったところで転倒した。痛かったが歩けたのでそのまま歩き下山。帰宅後腫れてきたので整形外科を受診した。	右足首靭帯損傷	3
③	松戸山の会	男	48	4月14日13時	茨城県	長沢ロック北壁大スラブ	笠間市上郷	登攀	転・滑落	リードで登攀中4グリップ(6m～7mほど)ほどかけた後、次のグリップに向けて登っていた際、左足がずり落ち数十センチ崖壁をずり落ちる、その時右足首に体重が乗ってしまい、内側に曲げられ右足首を骨折した。	右足首の骨折、全治2ヶ月	4
④	松戸山の会	女	54	5月2日9時30分	群馬県	相馬岳・西岳	妙義山上級者コース22分の2鎖場	登攀	転・滑落	妙義山上級者コースの22分の2鎖場にて足を滑らせ滑り落ちた。その際、左膝を強く強打及び捻ってしまった。帰宅後、為整形外科を受診し、左内側半月板損傷と診断。	左内側半月板損傷	3
⑤	東葛山の会	男	71	5月25日12時00分	千葉県	富津市磯根海岸	富津市磯根海岸	無雪期	熱中症	磯根浜海岸でのごみ拾い(クリーンハイク)中に気分が悪くなり手足のしびれ、吐き気を催してきたためしばらく休憩後に同行者に病院まで搬送してもらい診察を受けた。	軽度の熱中症	11
⑥	かがりび山の会	男	55	8月11日11時	北アルプス	常念岳	三股ルート前常念岳山頂直下	無雪期	転・滑落	岩から岩へ移る際にバランスを崩し、後ろ向きに転倒した。そのまま2mほど岩場を滑落した。怪我的には擦り傷と打撲のみであったが、頭部もノーヘルメットの状態で岩に打ち付けた。自力下山後、病院にてCT検査を行ったが内部出血はなかった。	擦り傷、打撲	1
⑦	松戸山の会	男	80	8月3日13時	日光・霧降高原	霧降高原	標高700m日光・霧降高原	無雪期	転倒	丁字の滝を見終わって戻るときに石に躓いて転倒し、その際に額を打撲した	頭部外傷(打撲)	9
⑧	松戸山の会	男	75	9月7日11時	八ヶ岳	八ヶ岳(北沢コース)	赤岳鉱泉へ向かう林道	無雪期	転倒	赤岳山荘駐車場から赤岳鉱泉へ向かう林道の終了点の山道に入る手前で、埋もれ石に躓き転倒、岩に左肘を投打し骨折	左肘骨折	4
⑨	ちば山の会	女	68	9月29日12時15分	長野県南佐久郡	小川山	七賢の岩場	登攀	落石	岩場下部でクライミング見学中、別パーティーのクライマーが使用していたハンドホールド(約30×15cmの岩)が突然剥離し、約20m上から落下して右肩甲骨下部に接触した	骨折(肩、鎖骨、肋骨)・肺に穴(気胸)	10
⑩	ちば山の会	女	40代	10月20日13時30分	奥秩父	太刀岡山	鉄岩	登攀	岩との接触	登攀中、右腕を伸ばした状態で体制を変えた際に、バランスを崩し右肩が岩にぶつかり脱臼した。(2年前にも同じ箇所を脱臼)	右肩関節脱臼	2


『ちばニュース』表紙で振り返る2024年

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年1月号

特集
ネパールトレッキング




千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年1月1日発行 通巻366号

新たな年に新たな夢・願いを…
体力・技術・経験に見合った山行を…

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年2月号




千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年2月1日発行 通巻369号

千葉県連総会に参加を…
これからの2年間を決めましょう！

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年3月号



千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年3月1日発行 通巻370号

春です… 心ウキウキ…
でも、安全登山を心がけて…！

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年4月号




千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年4月1日発行 通巻371号

もうじきゴールデンウィーク…
残雪登山の準備をしっかりと…

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年5月号




千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年5月1日発行 通巻372号

夏山を安全に楽しむために
事前トレーニングをしっかりと…

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年6月号



千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年6月1日発行 通巻373号

まずは地元の山・海岸などが
住んで、訪れて、清々しく感じられるよう
『グリーンハイク』を心がけましょう！

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年7月号




千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年7月1日発行 通巻374号

まずは地元の山・海岸などが
住んで、訪れて、清々しく感じられるよう
『グリーンハイク』を心がけましょう！

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年8月号



千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年8月1日発行 通巻375号

本格的な夏山シーズン 真只中
山行計画書を綿密に作成し
参加者でしっかり共有しましょう！

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年9月号




千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年9月1日発行 通巻376号

天候の急変に注意！
時間に余裕を持って行動しよう…

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年10月号



千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年10月1日発行 通巻377号

秋の日役は思った以上に早い！
全てに余裕を持った計画を…

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年11月号



千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年11月1日発行 通巻378号


房総の秋を調喚しながら
登山道調査をしよう！

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年12月号

<特集>
韓国・紅葉ハイキング



千葉県勤労者山岳連盟
Chiba Workers Alpine Federation
2024年12月1日発行 通巻379号

『安全第一』を念頭に
モラルを守って楽しい山歩きを…

県連活動予定表

1月			2月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	水	元日	1	土	
2	木		2	日	
3	金		3	月	立春
4	土		4	火	
5	日	小寒	5	水	
6	月		6	木	
7	火		7	金	
8	水		8	土	
9	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00	9	日	
10	金		10	月	
11	土		11	火	全国海外委員会/ZOOM 19:30 建国記念の日
12	日		12	水	
13	月	成人の日	13	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
14	火	全国海外委員会/ZOOM 19:30	14	金	
15	水		15	土	↑ 全国評議会 13:00-
16	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00	16	日	↓ 全国評議会 -12:00
17	金		17	月	
18	土		18	火	雨水
19	日		19	水	
20	月	房総の山復興プロジェクト 大寒	20	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00
21	火		21	金	
22	水		22	土	
23	木	機関紙委員会/ZOOM 19:00-21:00	23	日	天皇誕生日
24	金		24	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM) 振替休日
25	土	房総ハイキング (勝浦)	25	火	
26	日		26	水	
27	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM)	27	木	海外委員会/ZOOM 19:30-21:00
28	火		28	金	
29	水		1	土	合同会議 (船橋市塚田公民館)
30	木				
31	金				

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

◎事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 安彦秀夫

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません